

プログラム

1 日目 11 月 27 日 [金]

■受付 12:00 ~

6F 千里ルーム

■開会挨拶 12:50 ~

大会長 籠本 孝雄 (大阪府立精神医療センター)

副会長講演 13:00~13:40

千里ルーム

演題/精神科病院で「SST」が根づくには — 地方の取り組みから —

演者/一般社団法人 SST 普及協会 副会長

皿田 洋子 (福岡大学 人文学部)

座長/ 籠本 孝雄 (大阪府立精神医療センター)

公募演題 1 13:50~14:50

千里ルーム

【SST スタッフの人材教育】

座長/河岸 光子 (医療法人社団欣助会 吉祥寺病院)

Sp1 SST 初級研修会の効果に関する研究—研修会前後の自己評価の検討を通して

○森山拓也¹、佐藤珠江²、柴田貴美子³、池淵恵美⁴、安西信雄⁵

1. 日本福祉教育専門学校 2. 埼玉精神神経センター

3. 文京学院大学 4. 帝京大学 5. 帝京平成大学

Sp2 SST 立ち上げの経過と未経験者が持つ苦手意識の変化

○緒方雅寛 (医療法人尚和会 龍田病院)

Sp3 服薬教室の取り組みとグループカ動

— グループ危機を乗り越えるためのセッション運営の工夫 —

○滑川さやか、河岸光子、本橋勉、水津貴之、木城有里子 (吉祥寺病院)

Sp4 講師派遣事業によりスタッフ間の連携が向上した一例

○村上元 (札幌なかまの杜クリニック、札幌医科大学保健医療学研究科)

公募演題 2 14:50~15:50

千里ルーム

【発達障害・リワーク】

座長/的場 文子 (メンタルクリニック Matoba)

Sp5 学童期発達障害児への SST

— 感覚統合の視点を取り入れた作業療法士の介入 —

○佐藤夏紀¹、浦谷光裕²、谷口佳菜子¹、河盛由美子¹、中井菜摘¹、岩坂英巳³

1. 奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科

2. 奈良県総合リハビリテーションセンター 精神科

3. 奈良教育大学特別支援教育研究センター

Sp6 外来療育における個別 SST の取り組み

○角谷 実乃里、奥村 祐加、藤本 梢、山下 亨、中西 大介、西田 寿美

(三重県立小児心療センターあすなろ学園)

Sp7 成人期発達障害への SST-心理検査結果を踏まえて-

○小山徹平 (鹿児島大学医学部・歯学部附属病院)

Sp8 精神科デイケアにおけるリワークプログラムに SST を導入した結果報告

○山本 武、三曳正志、山口皓平、土居裕見子、渡部亜矢子

(公益財団法人 正光会宇和島病院)

公募演題3 自主企画1 13:50 ~ 14:50

801~802

Fp1 うつ病をもつ人のための SST

—リワークプログラムでの実践と工夫：多施設の現場から—

○佐藤幸江¹ 加藤和子² 田原智昭³

1. 東京海上日動メディカルサービス (株)

2. さくら・ら心療内科 3. 横浜市総合保健医療センター

公募演題4 自主企画2 14:50 ~ 15:50

801~802

Fp2 精神科リハビリテーションの重要性をいかに伝えるか～入口と広がり～

- 医学生や看護学生、研修医に精神科リハビリテーションの重要性をいかに伝えるか -

○松田康裕 (奈良県立医科大学 精神医学講座)

- SST を軸につながる多職種・関係施設・各部署との連携 -

○渡邊真之 (一般財団法人長岡記念財団 自立訓練事業所アスロード)

特別講演 16:00 ~ 17:30

千里ルーム

演題/やさしさを伝えるケア技術～ユマニチュード

演者/本田 美和子先生 (国立病院機構東京医療センター 総合内科)

座長/岩田 和彦 (大阪府立精神医療センター)

関連会議・行事

■理事会 9:00 ~ 12:00
代議員会

603~604

■懇親会 18:00 ~ 20:00

801~802

2 日目 11 月 28 日 [土]

■受付 8:30 ~

5F ライフホール

名誉会長対談 9:20 ~ 10:10

ライフホール

演題 / 対談” SST ”を語る —私が求める臨床家像と SST

演者 / 西園昌久 先生 (心理社会的精神医学研究所)

×

安西信雄 (帝京平成大学)

司会 / 岩坂英巳 (奈良教育大学)

公募演題 5 10:20 ~ 11:20

ライフホール

【SST の効果と普及】

座長 / 吉田 みゆき (同朋大学)

Sp9 統合失調症患者における主観的ウェルビーイングの社会生活技能訓練による影響

○坂本 浩¹、松本齋人²、山田大豪¹

1. 兵庫医療大学、2. 南勢病院作業療法室

Sp10 地方中枢都市近郊で行う誰でも参加できる SST の実践報告

○三浦由佳¹、村上元^{1,2}

1. 医療法人社団楽優会札幌なかまの杜クリニック 2. 札幌医科大学保健医療学研究科

Sp11 地域活動支援センターが「誰でも参加できる SST」を開催する意義に関する一考察 (その 3)

~全国で「誰でも参加できる SST」を実施しているリーダーにインタビュー調査を行った結果から~

○全 形文¹、岩崎貴子¹、河島京美²、吉田みゆき³

1. 豊玉障害者地域生活支援センターきらら

2. 練馬区社会福祉協議会地域福祉課、3. 同朋大学

Sp12 地域活動支援センターが「誰でも参加できる SST」を開催する意義に関する一考察 (その 4)

~社会福祉協議会が運営する地域活動支援センターの SST 関連事業の取り組みから~

○岩崎貴子¹、全 形文¹、河島京美²、吉田みゆき³

1. 豊玉障害者地域生活支援センターきらら

2. 練馬区社会福祉協議会地域福祉課、3. 同朋大学

公募演題 6 11:20 ~ 12:20

ライフホール

【司法・更生保護・フィードバック】

座長 / 品田 秀樹 (新潟県長岡地区保護司会)

Sp13 ある刑事施設における SST

○田村 勝弘 (新潟刑務所 処遇部 企画部門 (教育))

Sp14 就労支援指導における SST の効果について —社会定着を促す要因に対する SST—

○北田政司¹、北野一成²

1. 平成淡路看護専門学校、2. 高松刑務所 分類教育部

Sp15 怒りの統制ができず攻撃行動を繰り返す医療観察法患者に SEL 型 SST を試みて

○濱口正廣、牧野英之、高野真弘、山本克子 (国立病院機構榊原病院)

Sp16 SST でのビデオフィードバックの活用—A 病院 DH の実践から—

○矢島明佳¹、江口聡²、竹下保稔³、伊藤哲司⁴、石橋明美¹、柴田貴美子⁵、清水希実子¹、管心¹

1. 東京大学医学部附属病院リハビリテーション部精神科デイホスピタル、2. 東京大学医学部附属病院こころの発達診療部、3. 東京大学医学部附属病院看護部、4. 東京大学医学部附属病院リハビリテーション部精神科作業療法、5. 文京学院大学保健医療技術学部

【医療機関】

- Cp1 病棟 SST メンバーとデイケアメンバーとの交流を試みて
 ○長岡久雄、竹林宏克、武智佳子 (社会医療法人清和会 西川病院)
- Cp2 A 氏にとっての SST ~長期継続している理由を明らかにする~
 ○江村 千尋、小川 光弘 (社会医療法人清和会 西川病院)
- Cp3 「退院準備プログラム」が地域生活における自己効力感に及ぼす影響
 ○星成美¹、藤田良子¹、福島隆昭²
 1. 医療法人社団哺育会横浜相原病院 2. 医療法人社団碧水会長谷川病院

【地域】

- Cp4 就労支援における SST の導入とその効果
 ○田村 大祐、角田 有里、的場 めぐみ、地主 礼
 (社会医療法人 清和会 ヴィレッジせいわ)
- Cp5 生活訓練施設における SST の取り組み
 ~社会的行動障害への対処が可能になった事例~
 ○岩崎道治、中岡真弘 (堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター)
- Cp6 薬物依存症の回復に SST を活かす取り組み
 -群馬 SST 広流会、埼玉 SST 研究会との共同研究による-
 ○浅見隆康¹、須藤友博¹、高山千恵美¹、富田久生¹、中島基彰¹、橋本俊英¹、佐藤珠江²、
 千葉裕明²、天笠 崇²
 1. 群馬 SST 広流会、2. 埼玉 SST 研究会

【方法】

- Cp7 SST を用いた臨床実習事前指導 -ステップ・バイ・ステップ方式を参考に-
 ○大川浩子 (北海道文教大学)
- Cp8 SST 研修会基礎コース『SST の扉を開けよう! 魅力をしよう!』開催の試み
 ○須藤友博¹、高山千恵美²、酒井美子³、岡崎英一⁴、浅見隆康⁵
 1. 群馬県立精神医療センター、2. 社会福祉法人明清会伊勢崎地域活動支援センター
 3. 日本医療科学大学、4. 家族教室「土曜学校」、5. 群馬県こころの健康センター
- Cp9 SST の基本となる『コミュニケーション』を学び直す研修会の紹介
 ○村本 好孝 (SST 普及協会北海道支部 札幌なかまの杜クリニック)

【企業】

- Cp10 問題解決技能訓練を活用した聴覚障害者への就労支援
 ○岩佐美樹¹、足立一²、瀧本優子³、福永佳也⁴
 1. 障害者職業総合センター 2. 大阪保健医療大学
 3. 梅花女子大学 4. 大阪府福祉部障がい福祉室
- Cp11 特例子会社における精神障害等を有する社員の定着支援-問題解決療法の実践報告-
 ○千葉裕明 (埼玉 SST 研究会)

【子ども】

- Cp12 中学校の通級指導教室におけるペア・ソーシャルスキルズトレーニングの実践
 ○仲村康子¹、古川恵美²
 1. 守口市立庭窪中学校、2. 畿央大学
- Cp13 神経発達症児に対するソーシャルスキルズトレーニング (SST) の効果
 ○浦谷光裕 (奈良県総合リハビリテーションセンター精神科)

【新たな試み】

Cp14 マルチモーダル情報による自動ソーシャルスキルトレーナーの開発

○田中宏季^{1,2}、サクリアニサクティ¹、グラムニュービッグ¹、根来秀樹²、岩坂英巳²、
中村哲¹

1. 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
2. 奈良教育大学 特別支援教育研究センター

Cp15 Well-Being を促進する SST 実践のためのアセスメント開発

～ 精神障害を抱える当事者のためのポジティブ作業評価の可能性 ～

○野口卓也^{1,2}、京極真³

1. 公益財団法人慈圭会 慈圭病院
2. 吉備国際大学大学院保健科学研究科博士課程
3. 吉備国際大学大学院保健科学研究科

ランチョンセミナー1 12:30 ~ 13:30

ライフホール

【大日本住友製薬】

演題／「リカバリーをめざす SST と薬物療法」

演者／丹羽真一（福島医大会津医療センター）

座長／池淵恵美（帝京大学精神科学教室）

ランチョンセミナー2 12:30 ~ 13:30

501~503

【大塚製薬】

演題／「統合失調症患者さんの回復を支えるために治療スタッフができること
：自己治癒力モデルで考える」

演者／大下隆司（代々木の森診療所）

座長／粉川 進（愛知県立城山病院）

■会員報告会 13:30 ~ 14:00

ライフホール

シンポジウム 14:00 ~ 16:30

ライフホール

【学術委員会・協会共催】

演題／統合失調症の早期介入

～普及協会と関連諸団体との連携を視野に入れて～

シンポジスト／	松本 和紀	(日本認知療法学会)
	田尾 有樹子	(巢立ち会)
	後藤 雅博	(心理教育・家族教室ネットワーク)
	伊藤 順一郎	(日本精神障害者リハビリテーション学会)
指 定 討 論／	丹羽 真一	(SST 普及協会)
座 長／	池淵 恵美	(SST 普及協会)
	角谷 慶子	(SST 普及協会)

■閉会挨拶 16:30 ~

実行委員長 岩坂英巳（奈良教育大学）